

川崎市都市計画審議会 第6回都市計画道路網のあり方検討小委員会 議事要旨

- 1 日 時：平成19年10月23日（火） 15:00～17:00
- 2 場 所：産業振興会館11階 第6会議室
- 3 議 題：見直し候補路線の選定及び路線別見直し方針（案）について

（1）見直し候補路線の選定について（内容については資料概要版参照）

見直し候補路線の選定については、中間答申における見直しの基本的な考え方に基づき、必要性検証、事業実行性検証、改良方針検討を行い、計7路線11区間を抽出した。

（2）路線別見直し方針（案）について（内容については資料概要版参照）

各委員から次のような意見が出され、これらの意見を踏まえ、路線別見直し方針等（案）を取りまとめ、パブリックコメントを実施することとなった。

（意見要旨）

二子千年線（取付け道路）について

- ・それほど深刻じゃないとしても第三京浜からの出口渋滞が起きるところでもあり、現道周辺に問題があるとしたら無視できないため、見直しの際は配慮が必要。
- ・当然廃止しておくべき路線が残っていたという印象が強い。

小杉木月線及び元住吉線について

- ・元住吉駅前、駅前広場が何もなくて雑然としている。元住吉線は本来、綱島街道の方へつながっている計画道路にして、駅前広場をきちっと整備するということができるれば、両方の都市計画道路が生きてくるような気もするが、それがなくなるのであれば、何か替わりの対応も必要ではないか。
- ・地元の意向を考慮しながら対応するとともに、駅周辺整備についても前向きに検討してほしい。

野川柿生線について

- ・代替ルートとなる既存道路への影響等については、分かりやすい説明ができるよう整理が必要。
- ・この路線に限らず、住民の皆さんに説明するときは、機能検証の8項目だけでき

ぱり割り切るのは無理があることから、地形的な面からの事業性や、自然環境への影響など、総合的な視点で市民にわかりやすい説明をしてほしい。

大田神奈川線について

- ・ 平間駅の踏切と、ガス橋へ向かう南武沿線道路の車の渋滞が、通勤ラッシュ時に大変渋滞している。南武線を高架化できないか。
- ・ 開発が進んできている新川崎地区からの道路が、大田神奈川線につながっているので、今後、交通量がどんどん増える。早急にある程度、どうしてこの区間ができないのか、どのようにした方がよいのか、いくつか案を考えて再検討したほうがよい。

清水台交差点

- ・ 交差点処理に問題があるようなら積極的に検討を行うべき。その上で、どんなに頑張ってもやはり先々のことを考えたときに、交差点のスペースがもう少し要ることが見えるから、併せて幅員構成の見直し等をやりますという方がわかりやすい。

(3) 路線別(区間)見直し方針等に関するパブリックコメントの実施について

平成19年4月に施行された「川崎市パブリックコメント手続条例」に基づき、平成19年11月26日から平成19年12月25日までの30日間に実施を予定。

(4) 道路整備プログラムについて

都市計画道路網の見直しでは、「計画の視点」を中心にしながらも、効率的、効果的に都市計画道路の整備を推進するため「事業の視点」も考慮して検討を行うこととしている。

現在、市ではこの事業の視点に関連して新たな道路整備プログラムの策定を都市計画道路網の見直しと並行して行っていることから、これまでの作業状況について川崎市建設局より報告が行われた。

(以上)